

療養環境研究会シリーズⅡ 第9回オープンワークショップ議事録
「病院のさまざまな危険因子 ～KYT：危険予知トレーニング～」

日時：平成22年10月9日(土)13:30～16:30

場所：大森赤十字病院（東京都大田区中央4-30-11）

進行・企画：笥淳夫（国立保健医療科学院）・最所浩美（日本赤十字社）

参加者：39名

1. 話題提供「病院の建替計画について ―療養環境に焦点をあてて―」

前田久美子（大森赤十字病院 運営推進室長）

大森赤十字病院の建替計画について、その概要および実寸モックアップを用いた細かな危険予知による設計検証の様子をお話しいただいた。

2. 話題提供「～危険予知能力を高めるために～」

李代馨香（武蔵野赤十字病院 看護係長）

演習を行うにあたって、KYTの目的や重要性、エラー発生のメカニズムやトレーニングの進め方についてお話しいただいた。

3. 院内巡視による KYT 演習およびグループディスカッション

病棟部門→ 写真による KYT、大森赤十字病院以外の写真も含む。

外来部門→ グループごとに外来部門内を歩き回って写真を撮影しながらの KYT。

■病棟（大森赤十字病院以外の写真も含む）

様々な病院の写真に登場した、廊下に出ている物品や床に散らばるコード類について特に議論された。特にパソコンの放置は個人情報の流出にもつながる。こうした収納については職員の意識だけで改善しにくい部分も多く、メーカー側の商品開発にも良い課題となりそうという意見があった。

■外来

空間認識のしやすさ（サインなど）や、患者が利用する椅子の種類について特に議論された。たくさんの椅子を準備しておくことで患者が自分の好きな椅子を選べるという点に評価が高く、またキャスター付きの椅子の扱いについても意見が交わされた。

4. おわりに

大森赤十字病院は建替前のモックアップなどで非常に多くの危険項目について丁寧かつ詳細に設計検討されているので、多くの病院ではもっとたくさんの危険項目が出てくるだろう。今回の研究会は KYT の力を身につけるととてもいい機会であった。

最後に話題提供いただいた前田先生、李代先生、そして会場を提供してくださった大森赤十字病院の皆様に深く感謝いたします。

以 上

（文責：小菅）